

令和6年度 第1回(第13期第2回)八尾市環境審議会温暖化対策部会 会議録

○日 時 令和6年6月27日(木)午前10時～午後12時

○場 所 Zoomによるリモート会議での開催

○出席委員 花田委員、竹元委員、中田委員、原委員

○オブザーバー 大阪府環境農林水産部脱炭素・エネルギー政策課 山本課長補佐

○事務局 環境保全課 北村課長、京谷課長補佐、新葉係長、山本主査、岡崎副主査

○傍聴者 Zoomによるリモート会議のため傍聴者席を設置せずに開催

○当日次第

- 1 開会
 - (1) 委員の紹介
- 2 審議事項
 - (2) 地球温暖化対策実行計画の進捗把握
 - (3) 地球温暖化対策実行計画に即した環境総合計画の改定ポイント及び改定内容(案)
- 3 その他
- 4 閉会

○配布資料

- 資料 1 : 第13期八尾市環境審議会温暖化対策部会名簿
- 資料 2 : 第3次八尾市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の進捗管理表
- 資料 3 : 八尾市環境総合計画に関する改定の方針と主な改定内容(案)
- 資料 4 : 八尾市環境総合計画改定概要(案)

○議事の概要及び発言の趣旨

1 開会

(1) 委員の紹介

2 審議事項

(2) 地球温暖化対策実行計画の進捗把握

事務局にて資料2に基づき説明

<意見等>

委 員 運輸部門における充電設備の設置個所・基数(累積)のところ、令和5年度実績から基数ではなく口に変わっている。違いは何か。

事 務 局 充電設備が1つあれば1基と数えるが、その1基から実際に充電することができる本数、口数のことである。

委 員 家庭部門における新築・既築における省エネ住宅の戸数のところで省エネ住宅は温室効果ガスの削減効果が大きいと考えている。ZEB や ZEH については各住宅メーカー等が推し進めていると思うが、八尾市では補助等を行っているのか。もし行っていれば、補助件数がわかるのではないか。

事 務 局 省エネ住宅や ZEH、ZEB の補助は行っていないが、設備ごとに対する補助は行っている。エコキュートやエネファーム、空調等、家庭向けと事業者向けに分けてそれぞれ補助している。

委 員 ZEH や ZEB は認証制度があったと思う。そういうものに対して補助をしていくのは、二酸化炭素の削減効果が大きいのではないか。予算のこともあると思うが、検討いただきたい。

委 員 運輸部門における充電設備の設置個所・基数(累積)のところで、目標値の単位が『基』になっている。見直しは考えているのか。

事 務 局 目標値も超えた数になっていると思うので、今後検討していく。

- 委 員 色々なやり方があると思うが、例えば 1 基に対し、平均の口数を算出して、現状の目標値から平均値を掛けた数値で新たな目標値を設定するのはどうか。単位が異なるので合わせる必要がある。
- 委 員 家庭部門におけるうちエコ診断の実施件数について、実績は順調に進んでいるが、目標値がかなり大きい数値を設定されている。この目標値を達成するためにどうすべきか考える必要があるのではないかな。
- 事 務 局 施策を考える必要がある。例えば八尾市で補助をする際に、うちエコ診断の受講を必須条件とする等、考えていく。
- 委 員 廃棄物部門における資源化されている量を除くごみ処理量について、ごみ処理量を抑えるための具体的な施策はとられているのか。家庭向けのごみ処理量も含まれていると思う。設定した目標に向かった方向ではあるものの、コロナも落ち着いてきて生活様式が変わってきていくなかで、どのように抑えていくのか考えていく必要があるのではないかな。政策的な観点からも状況を伺いたい。
- 事 務 局 市では8種分別の徹底を行っており、啓発活動もすすめている。それらの取り組みがここに寄与してくると考えている。具体的な例をあげるとコンポストを推進した取り組みもある。担当課が異なるため、詳細については担当課に確認する。
- 事 務 局 現在、八尾市一般廃棄物処理基本計画も担当課にて見直しを進めているところであり、ごみの減量にむけた取り組みも合わせて検討されている。
- 委 員 ごみ処理はライフスタイルと密接にかかわる。経年でデータ取得していると思うが、効果を見ていく必要がある。その上で修正が必要なのか、現状のまま進めていくのか、分析をしながら進めるべきである。
- 委 員 八尾市ではごみ減量推進員の制度はあるのか。
- 事 務 局 制度はある。
- 委 員 大阪府下において、活用されている自治体と活用されていない自治体と分かれている印象がある。そういった制度の活用も一つ進めてもらいたい。ライフスタイルに

関係することなので是非考えてもらいたい。また、部署の違いは理解できるが、横断的に考えていくことがこれからの SDGs 含め、政策の在り方だと考えているのでお願いしたい。

事務局 ごみ減量推進員の件を含めた八尾市一般廃棄物処理基本計画の見直しに係る内容もこの部会にて共有させていただく。

(2) 地球温暖化対策実行計画に即した環境総合計画の改定ポイント及び改定内容(案)

～事務局にて資料3に基づき説明～

<意見等>

委員 「COOL CHOICE」から「デコ活」に変わり、内容的に大きく変わったか。

事務局 大きく変わったところはないが、まとまった印象がある。

委員 うちエコ診断のところで、大阪府の地球温暖化防止センターと連携して進めることはないのか。

事務局 例年 11 月の環境イベントなどでご協力いただいております、今後も協力を依頼する予定である。

委員 削減目標のところで、2030 年で温室効果ガス 50%の削減に向けた数値に合わせて令和 10 年度の目標値も設定しているのか。

事務局 仰られている通りである。第3次八尾市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の最終年度目標に合わせている。

委員 市域の温室効果ガスの排出実績を見て、どのあたりのものが削減可能であると考えているか。

事務局 部門ごと、例えば家庭、産業、業務、廃棄物、運輸で把握している。どこが一番減少していて増加しているのか、お示しさせていただく。

委 員	令和元年度までは実績として下がっているが、令和2年度の実績から家庭部門が増加していることがわかる。
事 務 局	ライフスタイルの変化や働き方の変化が要因であると推察できる。
委 員	部門ごとに施策を出していき、そのうえで効果を把握することが重要である。
委 員	まちなか避暑地、クーリングシェルターはこれから暑くなってくるため、公共施設をはじめ、ショッピングセンターもクールスポットとして登録されているのか。把握していればご教示願いたい。
事 務 局	まちなか避暑地について、公共施設は昨年同様に公表している。公共施設は過去からまちなか避暑地として活用している。商業施設については、現在のところ、まちなか避暑地に位置づけされていない。
委 員	あるショッピングセンターでは、施設内でウォーキングをしてもらおうといった取り組み事例があったと思う。そのような取り組みが八尾市でも実施できれば面白いのではないか。
大 阪 府	暑さスポットの話が出たため、情報共有させていただく。大阪府の取組みとして、身近なところで暑さをしのげる涼しい空間(クールオアシス)をホームページで公開している。今年はマップでも示しているので、スマートフォンなどで見ていただくとご自宅の近くのクールスポットがわかる。八尾市も含めて是非ご活用いただきたい。
委 員	経年の動きやデータを拝見したところ、現状では2030年度で50%削減は到達するのは難しいと考える。毎年見ていくと増減はみられるが、現実的に技術的な政策を入れるのは時間がかかるため、市民の意識とライフスタイルの転換が現実的であると考え。それらを踏まえてどのように考え、進めていくのか。
事 務 局	現在、環境省の交付金を活用して家庭用・事業用への補助金制度に取り組んでいる。太陽光発電の導入促進が最も効果が大きいと考え、家庭向けと事業者向けで進めている。一方で、この補助金を活用するためには、太陽光であれば、使用電力のうち一定の自家消費率を守ること等の条件があり、それらの要件を満たすことが難しいご家庭もある。そのため、補助が思うように進んでいない現状もある。再エネ

だけでなく、省エネの設備補助もあるため、それらの補助も促進していく。また、補助された事業者等のケースを周知することで、利用促進に努め、エネルギーの削減を目指していく。

委員 この課題は日本だけでなく世界的な問題であるが、八尾市としてどう取り組むかが重要である。分析の中で、政策の効果を把握する必要があると思う。2030 年まで6年しかない。限られた期間の中で、モニタリング、効果の分析を入れながら進めていくべきであると思う。

委員 2030 年までわずかであるため難しいと思うが、是非進めていただきたい。先ほど事務局から横展開の話があったと思う。実際に再エネ省エネ設備を導入した事業者等のケースを紹介するのは効果があると思う。様々なツールを活用して周知するのは良いことである。

委員 先ほど大阪府からクールスポットについて情報提供いただいたが、他の自治体の動向等も把握していれば情報提供願いたい。

大阪府 全ての自治体を把握しているわけではないが、八尾市は府内で積極的に取り組んでいる印象である。引き続き他の自治体の見本となる取組みを進めていただきたい。温暖化センターも引き続き活用いただきたい。

委員 八尾市は協議会も持っている。様々な団体が会員に登録されていると思う。この協議会を通じて情報提供も進めていると思うので、引き続き進めていただきたい。その他の委員からご意見はないか。

委員 市民側の感覚として、内容が難しいと感じる。うちエコ診断の活用については、変化を見るために年1回ではなく、複数回行ってもいいのではないかと。主婦や市民は口コミに敏感であると思うので、取組み数を増やしてもらいたい。また環境にも経済的にも効果がある取組みは実感が湧きやすい。複数回実施すればリピートして参加される方もおり、経過がわかる。自分は大阪府地球温暖化防止活動推進員である。八尾市にももっと活用していただきたい。

委員 地球温暖化防止活動推進員は貴重であり、取組みを進めていくことは重要である。環境に関心がない方が多いと思う。主催イベントを増やすことも一つの案としてある

が、温暖化以外の環境イベントや、他のイベント等に参加していくことも良いのではないかと。八尾市では生き物に関して取り組んでいる団体も多いと思う。そこで啓発を進めてもらえれば、温暖化に関心がなくとも生物多様性の観点から興味を持ってもらえるのではないかと。

3 その他

<意見等>

事務局

今後のスケジュールについて、来月7月末、9月と12月に審議会を開催し、9月に温暖化対策部会を開催し、環境総合計画の改定を進めていく予定である。引き続きご協力賜りたい。

4 閉会